

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	教科書の検定調査発行供給等事務処理		事業開始年度	昭和22年度		作成責任者
担当部局庁	初等中等教育局		担当課室	教科書課		教科書課長 森 晃憲
会計区分	一般会計		上位政策	確かな学力の育成		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教科書の発行に関する臨時措置法第6条、第7条、第8条		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とし、 ①申請図書調査・審査の実施 ②教科書目録の作成 ③教科書採択の公正確保にかかる指導及び発行供給状況の調査 ④申請図書及び検定審査の概要等の公開 ⑤教科書事務執行管理システムの確実な運用 等を行う。					
実施状況	①教科書発行者から検定申請のあった図書について、教科用図書検定調査審議会にて審議を行い、適正な検定審査を実施した。 ②教科書目録を約9万部発行(小・中・高・特別支援学校)し、全国の教育委員会、学校等へ配布した。 ③職員が全国5県に出張し、教科書採択や発行供給状況の調査を行うとともに、教科書発行者との協議会を4回開催し、教科書採択にかかる公正確保や教科書の円滑・確実な供給などについて指導を行った。 ④財団法人教科書研究センターにおいて、検定結果の公開を行った。 ⑤教科書事務執行管理システムを改修し、全国の教育委員会及び国公私立学校約4万箇所に向けてHPIにて配信した上でヘルプデスクを開設し、関係者の円滑な業務遂行を担保した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	55.0	41.3	40.8	50.3	38.9
	執行額	44.2	26.0	20.3		
	執行率	80.36	63.07	49.86		
	総事業費(執行ベース)	44.2	26.0	20.3		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	受注先が実施する業務については、当課が示した業務の趣旨及び仕様を説明した上で競争入札又は相見積もりを行い、業務を発注した。また発注後も適切に業務を実施できるよう適宜指導を行い、業務の実施状況を把握した。				
	見直しの余地	平成21年度においては、申請図書点数が予定を下回ったために不用が生じたが、22年度は新課程に対応した中学校教科書及び高校教科書(数学、理科)の申請が行われるため、調査にあたる専門委員を増やす必要がある。				
予算・監視の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とし、申請図書の調査・審査等を昭和22年度から実施している事業であり、長期継続事業や予算執行の観点から検証を行った。 2. 所見:昭和22年度以降長期に継続している事業であり、学校教育法に基づく教科書検定は、今後も実施する必要があるものの、検定周期等の事情により審査図書点数が積算を下回ったことなどにより、平成21年度において予算に不用が生じていることなどを踏まえ、毎年度、計画的な見直しを行うことにより、予算を縮減すべきである。 また、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性・公平性・透明性を確保すべきである。					
補記						

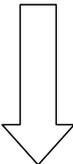
# 教科書の検定調査発行供給等事務処理

文部科学省  
20.3百万円

非常勤職員手当	3.2百万円	} を含む
諸謝金	0.1百万円	
職員旅費	1.6百万円	
庁費	7.2百万円	
情報処理業務庁費	5.7百万円	

教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とし、

- ①申請図書の調査・審査の実施
- ②教科書目録の作成
- ③教科書採択の公正確保にかかる指導及び発行供給状況の調査
- ④申請図書及び検定審査の概要等の公開
- ⑤教科書事務執行管理システムの確実な運用 等を行う。



[一般競争入札・委託]

A「教科書検定結果の常設展示による公開事業」に係る業務  
2.5百万円  
財団法人教科書研究センター

国民の教科書に対する関心に応え、教科書への信頼を確保するとともに、教科書検定へのより一層の理解に資するため、国民が検定結果に関する情報を常時入手できるよう、申請図書及び検定審査の概要について常設展示による公開を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.財団法人教科書研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場借料	会場使用料	2.2			
一般管理費		0.2			
その他	通信運搬費、消耗品費	0.1			
計		2.5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0